



# 駒岡小学校だより

4月号

やさしく 正しく 高め合って 生きる

校長 中山 正之

暖かな季節になってきました。桜の花は今年もきれいに咲きましたが、学校で皆様と一緒に楽しむことは残念ながらできませんでした。子ども達が学校に戻るまでには、また少し時間が必要となりました。4月6日の入学式と7日の始業式を行った後、8日から20日まで臨時休校とする予定です。厳しい状況が続きますが、どうかご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。

今年度は126名の新1年生を迎え、全校で764名の児童数で学校生活を始めてまいります。1年生から5年生は4クラス、6年生が3クラスの編制です。また、個別支援学級が5組から10組までの6クラス編制となります。教職員一同昨年度と同様に、一人ひとりを大切に支援していきます。ご心配なことがありましたら、いつでも学校にご相談ください。保護者の皆様と一緒に考えてまいります。

さて、新年度にあたり、学校教育目標について少し触れておきます。本校の目標は、「やさしく 正しく 高め合って 生きる」です。平成21年度に策定され、以来駒岡小の子ども達を育てる際の基本の理念として、大切にされてきました。この目標が作られたとき、四つの言葉には以下のような願いがあったそうです。

## 「やさしく」

「豊かな心や感性」の育成—「友達を大切にする思いやりの心、よいもの、美しいものに感動できる心など、人間らしい優しく豊かな心」の育ちをめざす、それを子どもたちに理解できる言葉で表したものです。

## 「正しく」

「規範意識、公德心」の育成—わがまを抑え、決まりを守って正しく行動する「規範意識、公德心」の育ちをめざす、それを子どもたちに理解できる言葉で表したものです。

## 「高め合って」

「共生力、コミュニケーション能力」の育成—友達や身近な人たちとともに、協力し、学び合い、高め合って生きていこうとする力や資質の育ちをめざす、それを、「向上心」の育成も含めて「高め合う」という言葉で表しました。

## 「生きる」

子どもたちの生活、生き方に結びついた目標となるように、「生きる」という言葉で結びました。



策定から十年を超えても、この目標の持つ理念は変わることなく保ち続けられ、現在の教職員達に引き継がれています。困難な状況にある今だからこそ、この目標を駒岡小に関わる人々全員で改めて共有し、再開の折には子ども達の学校生活をより豊かにしていきたいと強く思います。

今年度も、どうぞよろしくお願いたします。